

佛教文學

第二十九号

大江匡房の見た仁和寺性信 —『後拾遺往生伝』卷上第三話「入道一品親王」と散逸『大御室伝』から—	小田悦代
『華嚴縁起』の成立をめぐって —軍神としての愛染明王に関する一考察—	金野村卓美
—『仮名行状』と興福寺本『梅尾明恵上人伝』—	奥野村卓美
聖徳太子の師、恵慈法師について —西教寺蔵『授記品談義抄』紹介—	渡野田宣和
—『二〇〇三年度四天王寺国際仏教大会本部十月例会講演』—	三野宣和
難波四天王寺のころ —『本願縁起』と中心として—	川野宏教
—『二〇〇三年度十二月愛知学院大学合同例会講演』—	岸野宏教
法華経の訓読 —高僧伝絵巻における神話と歴史叙述—	桜田好道
—『一遍聖絵』読解の試み—	井島好道
—『二〇〇四年度五月大会講演』—	三輪元胤
呼子鳥の行方 —近世後期高野山一学侶の窓から— —日蓮の場合—	今成元胤
—二〇〇三年度本部十二月例会・小特集「清水寺」の紹介—	橋本正俊
—二〇〇三年度本部十月例会・四天王寺国際仏教大会所蔵恩頼堂文庫展観解説—	俊